

# 六道珍皇寺略縁起



京都では、「六道さん」の名で親しまれ、お盆の精靈迎え(毎年八月七日～十日までの四日間)に参詣する寺として世に名高い当寺は、山号を大椿山と号し、臨済宗建仁寺派に属する。当寺の開基は、奈良の大安寺の住持で弘法大師の師にあたる慶俊僧都で、平安前期の延暦年間(七八一年～八〇五年)の開創で、古くは愛宕寺とも称された。

しかし当寺の建立には、諸説があり空海説(「叡山記録」ほか)や小野篁説(伊呂波字類抄・今昔物語集)をはじめ、承和三年(八三六年)の平安前期に当地の豪族であつた山城淡海らが国家鎮護の道場として建立した(「東寺百合文書」)とも伝わる。また、その他にも東山阿弥陀ヶ峰(鳥辺山)山麓一帯に住んでいた鳥部氏が建立した宝皇寺(鳥部寺)の後身説など有るが、境内より奈良時代の瓦も出土していることより平安遷都以前に存在した寺院のあとを継いでいることは、ほぼ間違いない。この珍皇寺の宗派としては、もと真言宗で、平安・鎌倉期には東寺を本寺として多くの寺領と伽藍を有していたが、中世の兵乱にまきこまれ荒廃することとなり、南北朝期の貞治二年(一二六四年)建仁寺の住持であつた聞溪良聰により再興・改宗され、現在に至つている。

本堂には薬師三尊像(京仏師中西祥雲作)が安置されているほか、境内には閻魔堂(篁堂)、お迎え鐘の鐘楼があるほか、本堂裏庭には今も「小野篁冥土通いの井戸」「黄泉がえりの井戸」が残る。また収蔵庫(薬師堂)には重文の本尊薬師如来坐像(平安時代)が安置されている。



## 第49回 京の冬の旅

非公開文化財特別公開

### 六道珍皇寺

平成27年1月10日(土)～3月18日(水)

受付時間

午前10時～午後4時(受付終了)

公益社団法人京都市観光協会

六道珍皇寺

お盆の精靈迎え「六道まいり」で知られる平安時代創建の古刹。薬師堂には本尊・薬師如來坐像(重文)、閻魔堂には氣迫に満ちた閻魔大王像と小野篁像が安置されている。平安期の官僚・小野篁は、閻魔府の役人でもあったという奇怪な伝説があり、冥界への行き来に使つたという「冥土通いの井戸」「黄泉がえりの井戸」も庭に残る。近年10世紀頃の作と判明した「毘沙門天像」や、地獄絵「熊野觀心十界圖」などの寺宝も特別公開される。

#### 【拝観についてのお願い】

1. 拝観・写真撮影は係員の指示に従ってください。
2. 文化財には手や荷物がふれないようにお気をつけください。
3. 飲食・喫煙は禁止されています。
4. 定められた拝観時間以外は入場できません。
5. 本券で1名様に限り、拝観いただけます。

光協会之印